

1人ひとりの暮らしに合った備えを考える

3/25
(土)

アマダステーション1階

(八王子市東町3-4 地図裏面)

13:30開場、14:00~16:00

参加費▶700円(会員600円)

「わが家の災害対応ワークブック」(定価540円)
が付きます

子連れOK、子ども無料(託児なし)

定員▶30人(先着順、要予約)

持ち物▶筆記用具、住まいの地域の避難場所・
避難所が記載されている地図(ハザードマップ)
または「東京防災」の黄色い冊子

ファシリテーター 工藤 裕子さん

災害対応 ワークショップ

東日本大震災につづく原発事故から6年目の春。その後も、地震やさまざまな気候変動による災害が続いています。しかし、時が経ったり遠方の出来事だと、なんとなく他人ごとのように感じてはいないでしょうか？

このワークショップは、被災した状況をイメージしながら、自分や家族の防災上の課題を見つけ、必要な備えは何かを具体的に考えていきます。内容は主に地震への備えについてです。後から家でも使えるワークブックがお持ち帰りいただけます。この機会にぜひリアルに考え、取り組んでみませんか。



内容

①身のまわりを知ろう！

家族の生活スタイルや、自宅の構造、家具の配置等を確認し、防災上の課題を見つけます。

自宅から避難所までのルート、地域の特性を考えます。

②イメージしよう！

実際に大きい地震が発生した状況をイメージし、どういことが自分や家族に起こるのか想定します。そこで感じた疑問や困難をみつけ、備えに活かします。

③対応を考えよう！

発災時の具体的な場面で、どう対応したらよいのか、クイズ形式で考えます。また、各家庭に必要な備えや、家族で話し合うべきことを確認します。



ファシリテーター
工藤 裕子さん

災害への不安はあるけれど、何から始めたらよいのかわからないという方に、おすすめのワークショップです。参加を通して、自分自身やご家族に必要な備えとは何か、気づきを得ていただければと思います。

